

地理初步

地理初步

K110,25  
70.1

K110.25

70.1

師範學校編輯

# 地理初步

明治七年  
八月改正  
文部省刊行

地理初步

第一

人民住居スル所ノ地球ハ一ノ行星ニシテ其形  
圓キヨト地球ノ如ク

地球ノ中徑ハ東西凡三千二百三十四里ニシテ  
其周圍ハ凡一萬零百三十五里ナリ南北凡三千  
二百二十三里ニシテ其周圍ハ一萬零百三十里  
ナリ

此地球表面ノ事ヲ知り得ル學ヲゼオグラフィ  
ト云フ

ゼオグラフィストトハ、即地理學ト云フ義ニシテ地球表面ノ事ヲ説キ明スナリ  
 地理學ニ三種アリ○「ナ左」ラハ「ポリチカル」マセマチカルト云フ○「ナ左」ラルゼオグラフィストハ、地形、山川、海島ナドノ自然ニ由ルモノヲ説キ明ス學ナリ○「ポリチカル」ゼオグラフィストハ、都府郡縣、城市ナドノ政治ヨリ出ルモノヲ説キ明ス學ナリ○「マセマチカル」ゼオグラフィストハ、地球ノ運動、方角、里數ナドノ數學ニ關スルモノヲ説キ明ス學ナリ

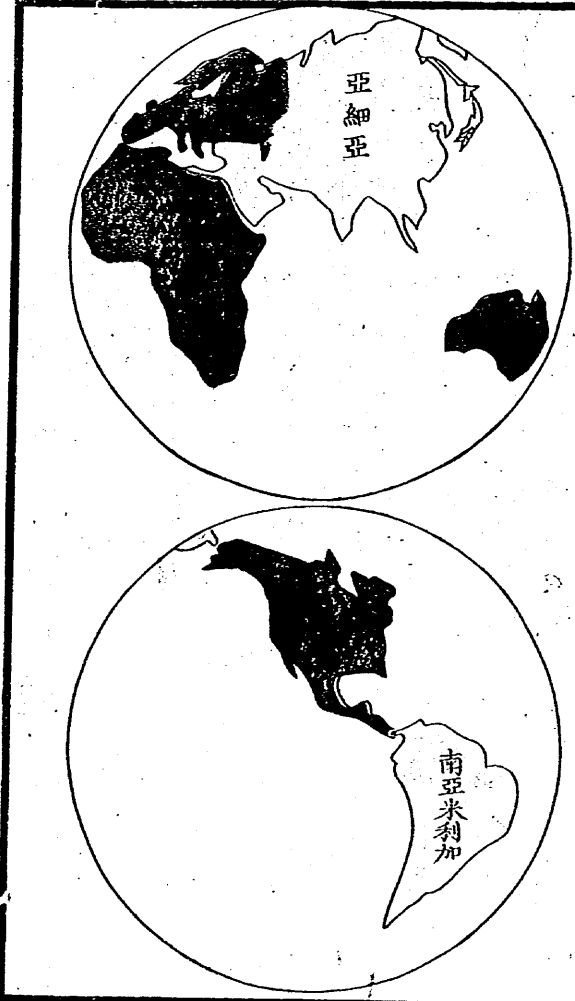
第二

人民ノ住居スル所ハ地球ノ外面ナリ  
 地球ノ外面ハ、陸ト、水トニヨリテ成レルナリ然レトモ、水ト、陸トハ其大サ同シカラスシテ水ハ陸ニ比ブレハ殆三倍ノ大サアリ  
 地球ノ外面ニアル陸ト、水トヲ示ス圖ヲ地圖ト云フ、其地圖ニハ、全地球ヲ示ス者アリ、或ハ半面ヲ示スモノアリ  
 地圖ヲ東西ニ分テテ東ノ半面ヲ示シタルヲ東半球ノ圖ト云ヒ、西ノ半面ヲ示シタルヲ西半球

ノ圖ト云ス

東半球圖

西半球圖



第三

地球ニ四個ノ方位アリコレヲ東西南北ト云ス

今圖ヲ以テ東西南北ヲ示サ

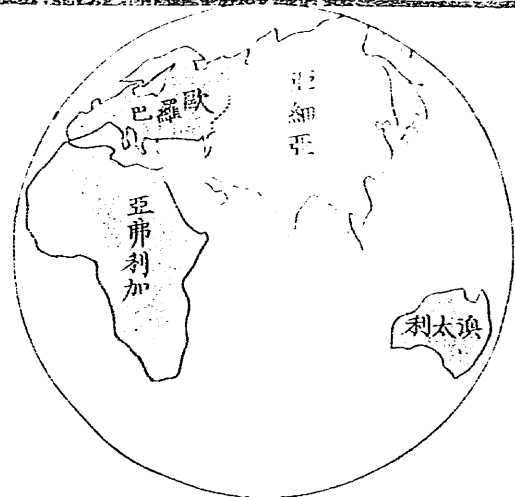
此小兒ノ右ノ手ハ朝日ノ方  
 ヲ指シ左ノ手ハ夕日ノ方ヲ  
 指セリ是小兒ノ右ヲ東トシ  
 小兒ノ左ヲ西トスルヲ知ル  
 ヘシ然ラバ小兒ノ背ハ南ニ  
 シテ面ハ北ニ向ヘリ



地球初歩

ノ利ト云フ、

東半球圖



西半球圖



第三

地球六四個ノ方位アリ、コレヲ東西南北ト云フ、

今圖ヲ以テ、東西南北ヲ示シ

此小兒ノ右ノ手ハ朝日ノ方

ヲ指シ、左ノ手ハ夕日ノ方ノ

指シ、是小兒ノ右又東トシ

小兒ノ左又西トスルヲ知ル

ヘシ、然ラバ、小兒ノ背ハ南ト

シテ、面ハ北ニ向ヘリ、



地球初歩

文部省

此方位ヲ地球ノ四方ト云フ

第四

東西南北ニ又中間ノ方位アリ東北、西北、東南、西南、是ナリ

地球ノ中彩色ヲ施セバ部分ヲ陸トス、其白キ者ハ水ナリ

爰ニ畫ケルハ地球上ノ三大陸ニシテ其周邊ハ大洋ナリ大洋トハ海ノ大ナル者ヲ云フ、三大陸ハ、東大陸、西大陸、及澳大利ニシテ東大陸、又分テ、三大洲トス、コレニ西大陸、及澳大利ヲ合セテ

五大洲ト稱ス、

五大洲ノ中、四大洲ハ東半球ニアリ、亞細亞、歐羅巴、澳大利、亞弗利加ノ四洲、即是ナリ、西半球ニ在ル大陸ハ、北亞米利加、南亞米利加ナリ

此五大洲ノ中、尤大ナルモノハ、亞細亞ニシテ尤小ナルモノハ、澳大利ナリ

此東西二球ヲ合セテ全地球トス、

第五

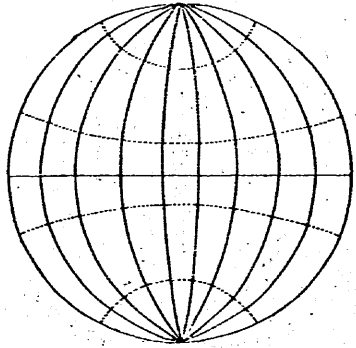
地圖ノ頂上ニ偏リタルヲ北部ノ國ト云ヒ、右傍

在ル又東部ノ國ト云ス下方ハ南部ノ國ニシ  
 テ左傍ハ稱シテ西部ノ國ト云ヘリ  
 地球ノ表面ニ縱横ノ線アリ其南北ニ引キタル  
 線ヲ經線ト云ヒ東西ニ引キタル線ヲ緯線ト云  
 フ緯線中央ニ在ル者ヲ赤道トス  
 緯線ハ地球ヲ一周スル所ハ圓ニシテ等シク其  
 間ヲ畫スルヲ以テ南北ニ至ルニ隨ヒ其周圍漸  
 小トナルナリ○經線ハ皆南北ノ極ヨリ引キ出  
 ダシタル圓ナルヲ以テ其長サハ同シト雖兩線  
 ノ間各差違アリ

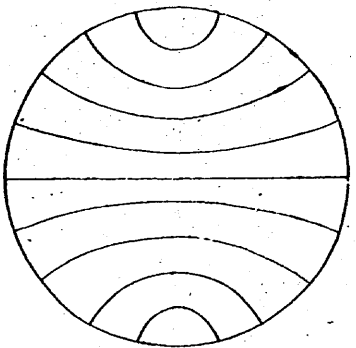
此經緯ノ線ハ各三百六十アリテ線ト線トノ間  
 又一度ト云ス  
 此緯線ノ度ヲ數フルニハ赤道ヨリ數ヘテ南北  
 ニ至ルナリ假如ハ赤道ヲ零度ト定メテソレ  
 ヨリ北ヘニ線ヲ隔ツレバ北緯二度ト云ヒ南ヘ  
 三線ヲ隔ツレバ南緯三度ト云フノ類ナリ但經  
 線ニハ其本ト定ムベキ所ナシ我國ニテハ東京  
 ヲ本トシコレヨリ西經幾度東經幾度ト數フル  
 ナリ  
 赤道ヨリ南北共ニ二十三度半ニテ各一線ア

北ニアルヲ夏至線ト云ヒ、南ニアルヲ冬至線  
 ト云フ、此二線ノ間ハ、氣候極メテ熱シ、故ニ稱シ  
 テ熱帶ノ地ト云フ。○南北ノ極ヨリ、二十三度半  
 ニシテ、各一線アリ、北ニアルヲ北極線ト云ヒ、南  
 ニアルヲ南極線ト云フ。此二線ト、南北極ノ間ハ  
 氣候極メテ寒シ、故ニ寒帶ノ地ト稱ス。○極線ト、  
 二至線トノ間ハ、其氣候寒暖中ヲ得ルニ因リ、稱  
 シテ中帶ノ地ト云フナリ。

經線圖



緯線圖



第六

地球上ニ、五大洋アリ、太平洋、大西洋、印度洋、南冰  
 洋、北冰洋ナリ。

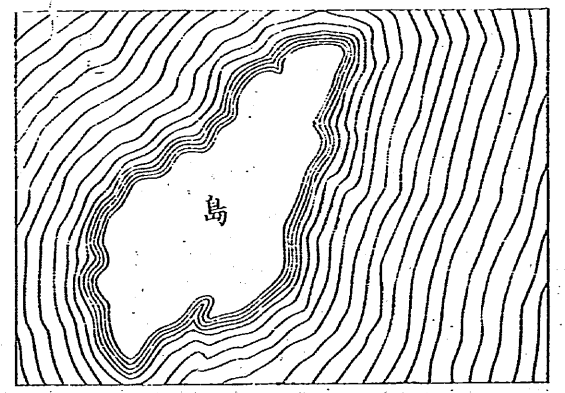


北冰洋ハ西半球ト東半球トノ北部ニ在ルヲ云  
 フ○太平洋ハ東半球ノ東部ト西半球ノ西部  
 ニ在ルヲ云フ○印度洋ハ東半球ノ中央ニアリ  
 ○南冰洋ハ西半球ト東半球トノ南方ニアリ○  
 大西洋ハ西半球ノ東部ト東半球ノ西部トニア  
 ルヲ云フナリ○此五大洋其在ル所ノ地方ヲ以  
 テ言ヘバ北冰洋ハ北亞米利加ノ北ト歐羅巴及  
 亞細亞トノ北ニアリ大西洋ハ亞細亞ノ東ト南  
 北亞米利加トノ西ニアリ印度洋ハ亞弗利加ノ  
 東ニアリ大西洋ハ歐羅巴ト亞弗利加トノ西ニ

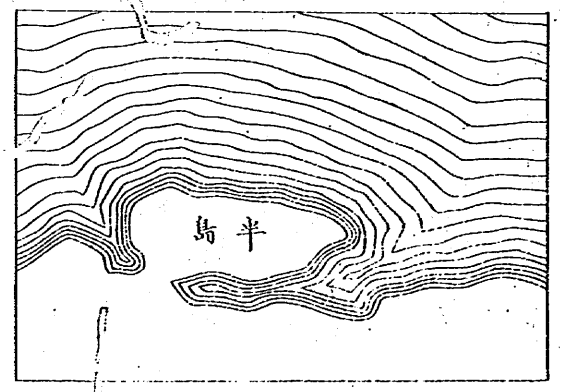
アリ

第七

島 圖



半島 圖



地理

七

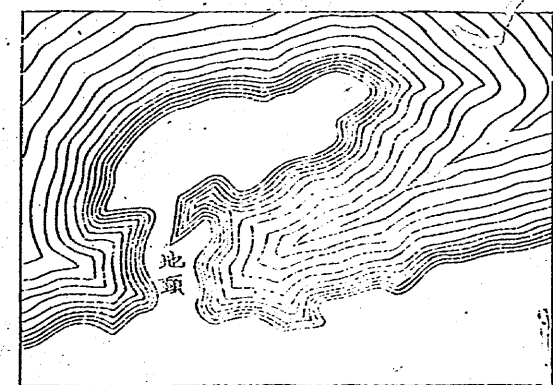
ノ音

水四周ヲ圍ミタル地ヲ島ト云フ其形ハ三大陸ニ同シト雖小ナルヲ以テ名ヲ異ニセルナリ

大陸ニ續キタルヲ半島ト云フ

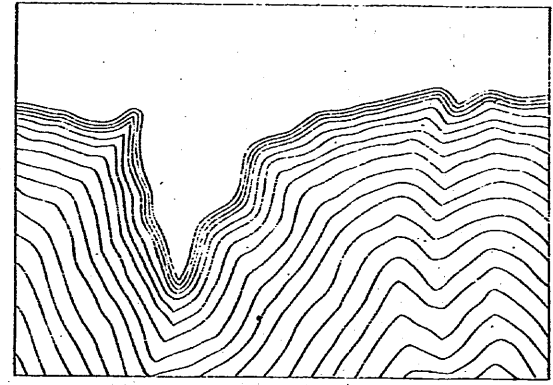
半島ト大陸ト續キタル其間ノ細クシテ且長キ地ヲ地頸ト云フ大地ノ一角尖ヲナシテ遠ク海中ニ突キ出デタ

地頸圖

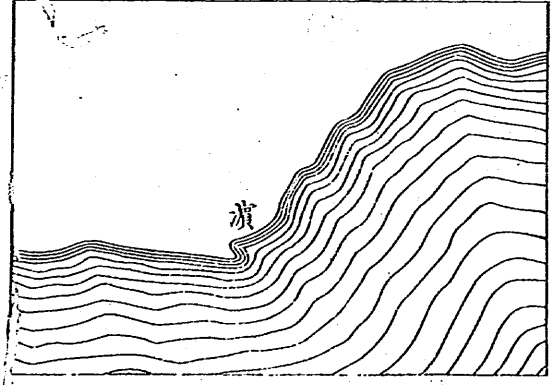


ル所ヲ崎ト云フ

崎圖



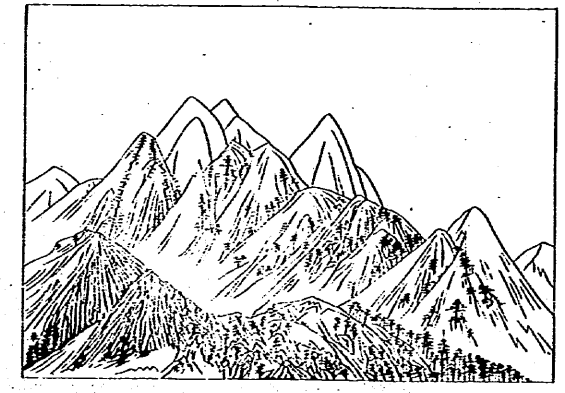
濱圖



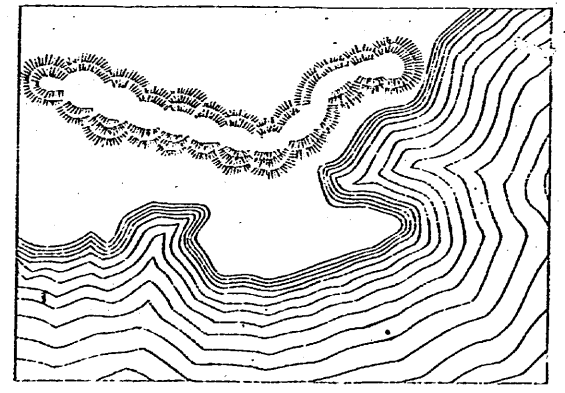
陸地ノ長ク海ニ沿ヒタル所ヲ濱ト云フ

陸地上ニ、土石高ク起レルモノヲ山ト云フ、  
 山ノ較小ニシテ低キ者ヲ岡ト云フ、

山 圖

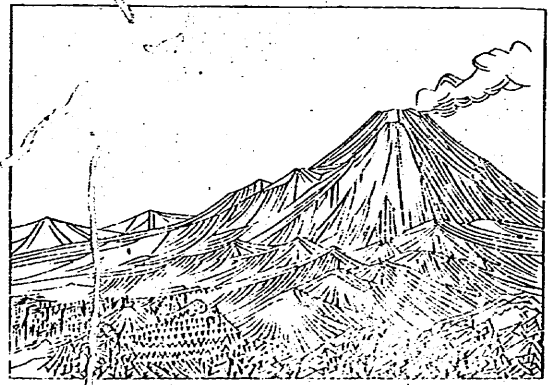


嶺 圖



兩山ノ間ヲ谷ト云フ、  
 山々相接シテ長ク亘レルヲ嶺ト云フ、  
 山巔或ハ山背ニ穴アリテ、常ニ火烟ヲ噴キ出ダスヲ火山ト云フ、  
 火山ハ、時アリテ、燒石、浮石等ヲ噴キ出ダス者ナリ、  
 地ノ廣平ナル者ヲ原ト云フ、

火山 圖



地理初歩

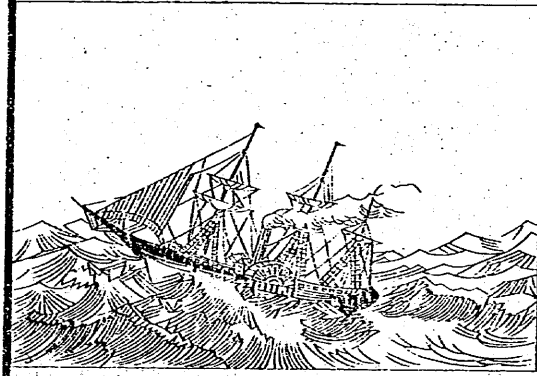
九ノ文部省

五ル所、皆沙ニシテ水草ナキヲ、沙漠ト云ス

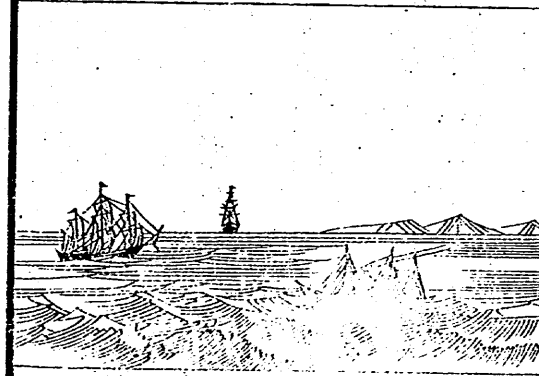
第八

大洋トハ、海ノ廣大ナルモノヲ云ス

大洋圖

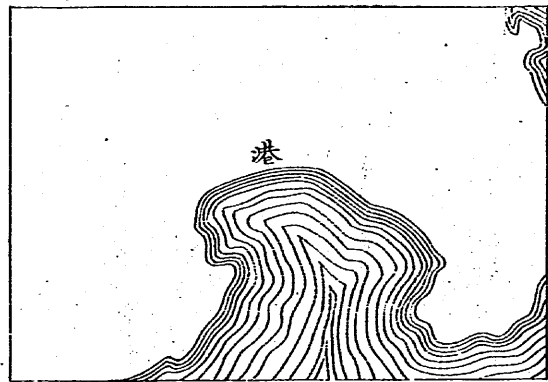


海圖



海トハ、兩陸ノ間ニ介マリタル所ヲ云フ即大洋ノ分レタルナリ、

港圖

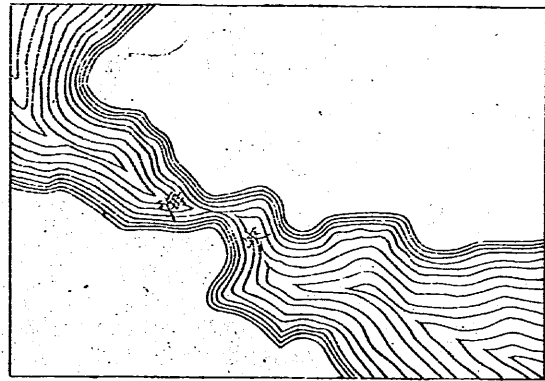


灣圖

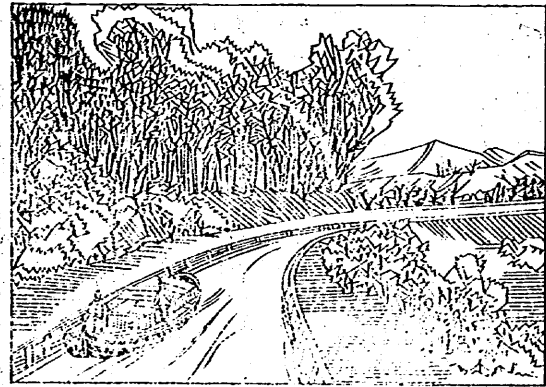


海ノ深ク陸地ニ入りテ船ヲ泊スルニ便ナル處  
ヲ港ト云ス

海峽圖



溝圖



水ノ陸地ニ曲リ入レル處ヲ灣ト云ス

陸地ノ間ニアリテ海水互ニ相通スル、狭キ所ヲ

海峽ト云ス

溝ハ人工ヲ以テ鑿キ

通シタル者ニシテ物

ヲ運漕スルニ用井ル

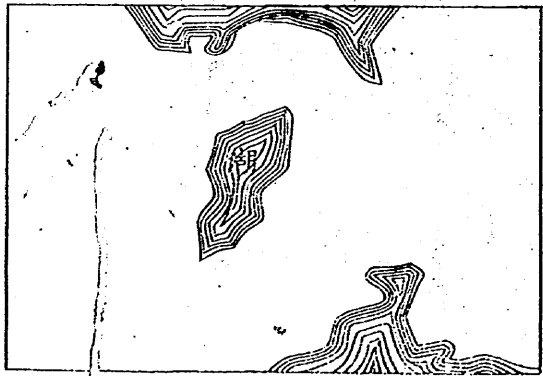
水流ナリ

四面全ク陸地ヲ以テ

圍ミタル處ヲ湖ト云

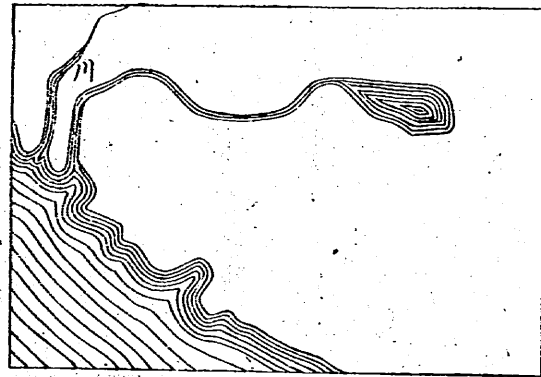
ス其中或ハ一方河海

湖圖

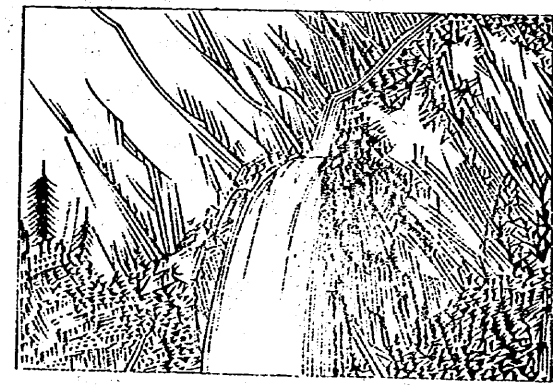


二通ズルモノアリ、川ハ、陸地ノ間ヲ流ル、水ヲ云ス

川 圖



瀑 圖



川水ノ始メテ、流レ出ヅル所ヲ源ト云ス、其流、小ナルモノヲ、小川ト云フ、マタ深廣ニシテ、大船ノ往來スベキモノヲ、大河ト云フ、水ノ、山上、或ハ高キ所ヨリ、急ニ、低キ地ニ、落チ下、タルモノヲ、瀑ト云フ、

地理初歩終

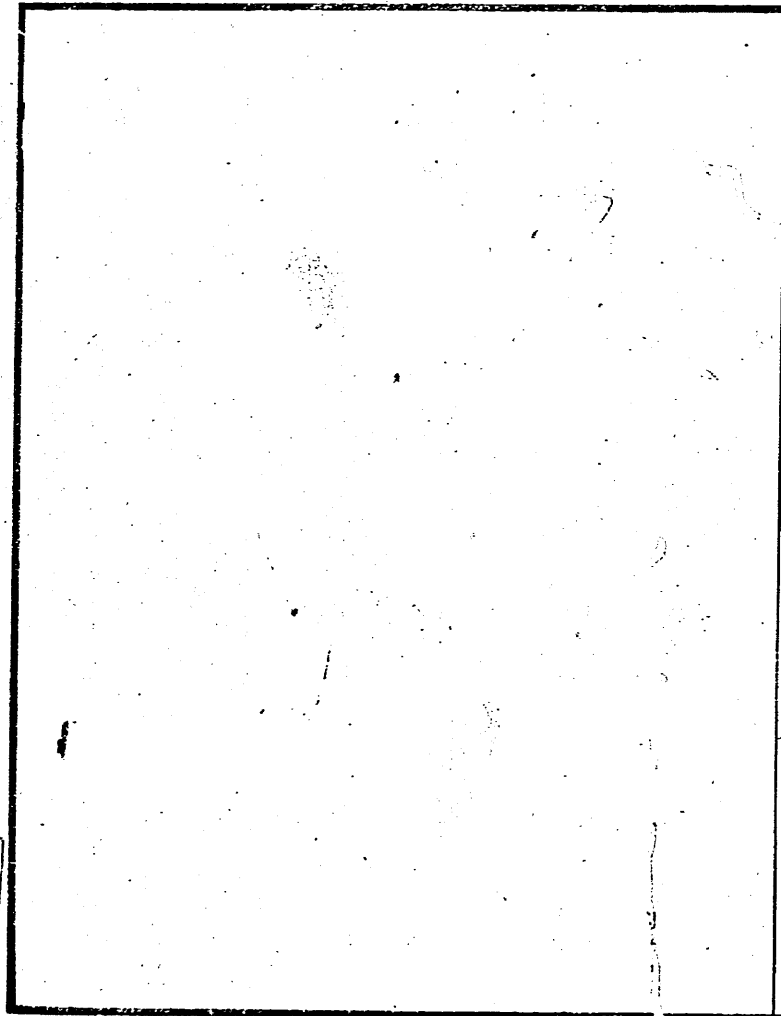
地理初歩

七

K110,25 - 10.1

抄本

文部省



明治十年十月十六日御届  
同月十八日出版

静岡縣  
平民

翻刻人

山下仁平

遠江國敷知郡  
濱余驛神明町十二番地

發兌

靜山堂

